



## 1. 中国において第6回 ITER 理事会を開催

6月16～17日、ITER 機構の最高意思決定機関（運営組織）である ITER 理事会の第6回会合が招集されました。中国の蘇州市における2日間の会合には、ロシアのエフゲニー・ベリホフ議長の下、中国、欧州連合、インド、日本、韓国、ロシア、米国の7つの ITER 加盟極の代表が一堂に会しました（図1）。

会合は中国科学技術部長である万鋼博士のステートメントから始まりました。万氏は蘇州を訪れた代表団を歓迎するとともに、ITER 事業に対する中国の確約を強調し、「中国政府は ITER の重要性を高く認識し、事業の成功を保証すべく ITER 機構および他の六極と手を携える。ITER は国際的な難問を科学技術によって克服できることを、世界に証明する。」と述べました。

ITER の全参加極は事業に対する支持を再確認し、成し遂げられた進捗を評価しました。欧州代表団長のホセ・マニエル・シルバ・ロドリゲス氏は「ITER をここまで導くにあたり、我々は多くの困難な問題に直面しなければならなかった。十分な相互理解、善意及び家族的精神により、この注目すべき事業の完全な成功を確保するという共通目的に向けた最善の方法を見つけることができることは疑いの余地がない。」と述べました。

池田要 ITER 機構長は、前回理事会会合以降の ITER 機構の進捗について詳細に報告しました。機構長は、事業が今や建設期に突入している点を強調しました。また、理事会に提出された詳細な文書の作成における参加極の国内機関と ITER 機構の間の強い協力を評価しました。機構長は、今や全ての参加極が建設のための入札に全力で取り組み、ITER 機器の製造における着実な進捗を確認し、「ITER 機構及び国内機関の多大な努力により、既に ITER の建設を進める上で必要な調達取決めの約60パーセントが締結された。」と述べました。さらに機構長は、最初の ITER 建屋の建設およびトカマク建屋の基礎工事用の掘削が2010年7月に開始される予定であることを述べました。



図1 第6回 ITER 理事会風景。

ITER 理事会は、2011年年次作業計画案、会計検査、次年度以降の ITER 予算案、輸出規制、平和的利用および不拡散、並びにテストブランケットモジュール計画等の案件に関する進捗の概略を記載した、理事会の科学的及び運営的な補助機関からの報告に留意し、レビューを行いました。理事会は、2009年の年次会計および貸借対照表を承認しました。

ITER 参加極は、全ての代表団が ITER 計画の次のステップの議論を完了する状況が見込まれる場合2010年7月の最終週に仏・カダラッシュにおいて理事会会合を開催することに合意しました。

理事会会合の開催に先立ち、全ての代表団は、「ITER・核融合展示会」の開催式典に出席しました。展示会は、ITER 中国国内機関により準備され、各 ITER 加盟極の貢献に焦点をあてつつ、エネルギー源としての核融合の展望と課題が紹介されています。視聴覚に訴える展示、模型、ITER 機器、そして説明ポスターの組み合わせにより、刺激のかつ教育的な展示会を創り出しています。蘇州市工業団地において開催されているこの展示会には、多くの来訪者が見込まれます。

## 2. ITER 企業説明会の実施

原子力機構は、これまで東京を中心に国内各所で、ITER 計画に関連する企業を対象として説明会を行ってきました。6月9日には、20団体から24名の参加者を迎えて、東京新橋において第15回 ITER 企業説明会を開催しました（図2）。今回は、ITER 機構からマース上級職員およびフラメント調達・契約部長をお招きし、ITER 機構が直接契約する業務外部委託の入札に、より多くの日本企業が参加できるよう、「ITER 計画における調達の現況」および「ITER 機構が行う調達と契約」について説明いただきました。講演の最後には、ITER 機構のウェブサイト (<http://www.iter.org>) に接続して、オンライン登録の手順や今後



図2 第15回 ITER 企業説明会の様子。

の入札情報などの紹介もいただきました。講演後には、これまで入札に参加された企業の方から多くの質問があり、活発な意見交換が行われました。

### 3. 科学技術フェスタ in 京都でのITER展示と第8回核融合エネルギー連合講演会でのITER機構職員募集説明会の実施

6月5日に国立京都国際会館で開催された科学技術フェスタ in 京都の展示エリアにおいて、ITER模型を展示し、来訪者に資料の配布およびITER計画の説明を行うとともに、

ITER 機構職員募集および登録の案内を行いました(図3)。また、6月10-11日に高山市民文化会館で開催された第8回核融合エネルギー連合講演会の展示エリアにおいて、来訪者にITER計画などの資料を配布し、ITER 機構職員募集および登録の案内を行いました(図4)。これらの詳細については那珂ITERウェブサイト(<http://naka-www.jaea.go.jp>)の「ITER 機構職員募集説明会について」をご覧ください。

(日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門)



図3 科学技術フェスタ in 京都(国立京都国際会館)での展示の様子。



図4 第8回核融合エネルギー連合講演会(高山市民文化会館)での展示の様子。